

茨木スクールカウンセラー研究会 日記

第45回 2015年6月 睡眠障害の診断の本質を考える の巻

・睡眠障害にまつわる診断に納得がいかなかった場合、主治医の先生に説明を聞いてみる、ということがあげられました。睡眠障害だけの要因なのか、他の問題から睡眠障害になっているかなど、広い視野に立って問題を考えてみることを学びました。

・事例からは、概要を読む際、誰が言った話?と疑問を持って読んでいく必要があることに気づかされました。世代間に渡って影響している母と子の養育関係があるということも心理士として考えていかなければならないキーワードの1つだということを学べ、今日も来てよかったと思いました。

記録： 谷口 (臨床心理士)

日時： 2015年6月13日(土) 18:30~20:30

場所： 茨木市男女共生センター ローズ WAM

参加者： 6名 (大阪府 SC、兵庫県 SC、奈良県 SC、
その他、医療分野 CP、福祉分野 CP)

内容：

前半：参加者から話題提供

テーマ：睡眠障害について

後半：心理アセスメントの練習

事例：練習問題：親の子どもへの係わり方で

子どもの問題行動の意味を考える

次回開催予定：2015年7月11日(土) 13:00~15:00

テーマ：べてるの家 の「当事者研究」について